

令和6年度第3回芽室町総合計画審議会評価専門部会（Bグループ） 議事録

令和6年8月7日（水）18:30～20:20

芽室町役場 地下会議室5・6

■出席委員（6名）

木原委員、桜井委員、佐藤委員、高橋（圭）委員、堀越委員、山田委員

■欠席委員（5名）

遠藤委員、櫻田委員、珠玖委員、須崎委員、高橋（広）委員

■事務局

村上政策推進課政策調整係主査、天野

■説明員

有澤政策推進課長、中田政策推進課長補佐、松田住民税務課長、村島納税係長、我妻農林課長

■1 開会及び挨拶

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和6年度第3回総合計画審議会評価専門部会を開会します。欠席の御連絡を、遠藤委員、櫻田委員、珠玖委員、須崎委員、高橋（広）委員からいただいております。

グループ長

お忙しいところ第3回専門部会にお集まりいただきありがとうございます。今回は5つの施策を協議する。時間は限られているが、建設的な意見を頂きたい。

■2（1）調査事項 2024年度施策マネジメントシートについて<資料1>

◎5-2-2 健全な財政運営

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたって質問はないか。

【質問なし】

それでは、各委員より妥当か妥当でないかを発表していただく。

（5名全員妥当）

グループ長

特に理由などがあれば発表いただきたい。

委員

質問になるが、成果指標①の数値は8月判明となっているが、まだ出ていないのか。

中田政策推進課長補佐

月末に監査報告を受けることになっており、そこで確定する。参考までに情報提供する。2023年度経常収支比率は89.7%、実質公債費比率は8.1%、将来負担比率82.6%である。

委員

広報誌に決算情報が出ていたが、他の町の平均的指数が分かるとよいと思う。監査はどこがするのか？改善を要求したいことがあるので教えてもらいたい。

中田政策推進課長補佐

町の監査は監査委員事務局が担当しており、代表監査委員と町議会選出の委員1名で予算決算等の監査を受けている。半期に1回監査を受ける。

委員

成果指標①の最終目標は、財政計画の中で作った数値であると思うが、8月判明の数字は、成果指標①②とも目標値より越えている。数字が上がっている理由はなにかあるか。

中田政策推進課長補佐

目標値は中期財政計画の推計値から設定しているが、中期計画なので推計が難しい部分がある。温水プール建設、役場庁舎など、建設にあたっては起債（借金）をして借り入れをして建て替えている。その返済が始まると経常収支比率や実質公債費比率も上がる。財政計画を立てる時に、町税や地方交付税といった収入を過大に見ることはできないので、厳しく収入を見ているが、推計が難しいところではある。他の町との比較で言うと、本町においては真ん中ぐらい。目標値が他と比べると悪いのかということ中ぐらいの部分。大型事業の実施によって想定したより数値の悪化が早まっているというのが現状と分析している。

委員

財政計画で言うと、最終年度には経常収支比率は89.7より下がっていく見込みか？上がっていく見込みか。

中田政策推進課長補佐

地方交付税や税収が上がれば、個々の数字は下がるが、税収や地方交付税が右肩上がりになることは現実的ではない。そういった中で、町で色んな事業をやって、経常的な経費が上がっていて、経費が下がることは想定されない。財政計画上も現状も数字的には上がっていくと見込まれる。

委員

町民税でどのくらい税収があるのか。

松田住民税務課長

成果指標③で99.1%となっている。前年は、99.2%であり、0.1%落ちている。納税相談を受けているが、物価高騰などの影響が生活に出ていることがうかがえる。そういった方には分納など、支払いの計画を立てている。

委員

町税徴収率100%にならない分は、どのように徴収していくのか。

松田住民税務課長

事情があって遅れる場合は納付相談の上で計画をたてているが、一部そうではない方、督促に応じない方もいる。そういった場合については、職場に給与情報を照会して差し押さえや、調査をして預貯金をおさえるといったことを行う。順序があるので、悪質な場合はそのように対応し、不公平感のないように徴収している。

委員

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等で、議会において健全化に関する意見があると書かれている。経常収支比率約9割とお金がない状態になってくる。公共施設の老朽化や移転など次に控えて厳しい中でやっていると思う。議会も町民も色々言う中で頑張っているなど思っているし、今後も頑張りたいと思う。

## ◎ | - | - | 担い手育成と農業の応援団づくり

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたって質問はないか。

【質問なし】

それでは、各委員より妥当か妥当でないかを発表していただく。  
(4名妥当、1名妥当でない(C))

グループ長

特に理由などがあれば発表いただきたい。

委員

成果指標②③は、目標に対する達成度は高水準。これだけの数字をもっていけば前進したと思っていいと思う。

委員

成果指標①の新規就農者数8で( )内の8は後継者ということで、実質的に新規就農者はいないということか。

我妻農林課長

( )は累計の数字を入れる。計画の初年度なので同じ数字が入っている。新規就農者については、委員がおっしゃるとおりすべて後継者である。

委員

農地が空いていない状況は今後も続くか。

我妻農林課長

確証は難しいが、逆に10～20年経ったときに、遊休農地がない保証はないと思いきわ機感を持っている。新たな担い手確保については、新たに組織を設けて活動している。3件相談を受けて、2件継続して相談を受けている。従業員として勤めたい場合や、従業員として働き、その後独立したいといった様々な希望がある。取り組みは続けていきたいと思っている。

委員

農業後継者の結婚相談について。婚約成立25%と聞いたが本当か。農業委員会でないとわからないか。

我妻農林課長

後継者の結婚対策については農業委員会所管している。担い手部会の中には農業委員会も入っている。農業委員会の後継者の配偶者対策として色々なイベントをやっているが、25%の成婚率はないと思う。

委員

事業費について、策定時決算と2023年度決算に変動があるが、要因は。

我妻農林課長

この施策には21の事務事業がぶら下がっており、その中には国の補助金を使ってやるものや、施設整備なども入っているので、そこが大きく事業費を上げている。決算数字だけで優劣がつくわけではないと考える。

委員

農業の応援団づくりということで、農家以外の人に対して望むことを広報に載せたり、教えてもらいたい。農業を支援したいし応援したい人はいると思う。

我妻農林課長

まずは農業を理解していただくこと、そして地産地消していただくことが、応援団づくりに一番近いと思う。他には、小学生向けの農業小学校という事業や、学校のカリキュラムの中に種まきから収穫、メニューを考えて食べるというところまでやっている。子どものうちから理解してもらおうという取り組みをしている。町としてはそういった取り組みをPRしているが足りないところもあるかもしれない。芽室産の物を食べていただくというのが一番だと思う。

委員

後継者が後を継がないことも考えられると思う。時代に見合った取り組みを構築していく必要がある。

委員

人口も減少しているし、町外に出て30歳くらいに戻ってくる人もいる。農家も戸数が減って、その分経営規模が大きくなっている中で、家族経営でどうやっていくか。工夫しながらやってはいる。

委員

耕作地の放棄地というのはあるのか。

我妻農林課長

今はない。

委員

今後はあるのか。

我妻農林課長

湿地など条件悪いところはそういうことが起こりうる可能性はある。今からそういったことへの準備をしている。家族後継者のみならず第三者による承継も視野に入れている。今から準備をしっかりとしていきたい。

委員

労働力不足は作業委託など進んでいるため、耕作地が出るとしたら条件の悪いところということか。

我妻農林課長

労働力不足で手が回らないという可能性もある。

委員

耕作地について、父親が亡くなった時に農地への多くのオファーがあり、農地が空きそうなところは前向きに検討されていることが分かった。後継者については、長男が継いでいるところに次男を呼んで家族経営しているところもある。子どもたちも、将来の夢は「農業をやりたい」とか「次男だけお兄ちゃんと農業をやりたい」という子もいて、見通しは悪くないと思う。東京都が結婚のマッチングアプリ始めたが、町がやってもいいのではないかと思う。応援団づくりについては、山村留学をやっているが、小学生は全員必ず農業小学校に行ってもらうことを条件としている。行くと勉強になるし、内容も濃いため、もっとアピールしてもいいと思う。

## ◎ 1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたって質問はないか。

【質問なし】

それでは、各委員より妥当か妥当でないかを発表していただく。

(4名妥当、1名妥当でない(B))

グループ長

特に理由などがあれば発表いただきたい。

委員

成果指標①は、目標額に達したためB評価でもいいと思う。

委員

3. 施策の達成状況で「成果は変わらなかった」になっているためC評価が妥当と判断した。

委員

成果指標設定の考え方の部分について、物価高だから額だけを見るのではなく、生産の数量にどれだけ施策が貢献しているのか見てみたいと思った。コストもかかるが販売価格も上がるのであればいいが。数量の増減も表示されたらいいと思った。

委員

昨年度の専門部会では、成果指標に総額表示とそうでない数字が混ざっていて、農家の手取りが増えているわけではないと説明した。農業は気象条件の変動が大きいので、野菜や馬鈴薯は取れなかったりする。野菜は市場のため取れなかったら価格はあがるが、一概にはいえない。農業が元気かということ、手取りを考えると厳しい。

委員

施策は、あくまでも農業生産性の向上のため、成果指標は農業産出額でよいと判断して評価をした。農家の手取りということならまた別の観点ではないか。農家個々の収入や農家全体の総収入を言うのであれば別の施策とするべきではないか。

委員

先ほど申し上げた指標の生産の数量については、何トン増えたなどのことであり、農家の収入のことではない。

我妻農林課長

おっしゃる疑問は分かるが、農産物と畜産物では割合が違ったり、畑作でも品目によって良い悪いは年によって温度差はあるし、個々の経営体でも差はある。町としては、個人ということではなく、町全体の農業を考えた時に生産性をどう上げようか ということを考えている。畑作と畜産の違いもあるし、総じてどうかというのを指標として使わせてもらっている。

委員

産地間競争も激しい中で、温暖化に合った作物を新規作物として導入して伸ばしていくという先進例はあるのか。

我妻農林課長

落花生やさつまいもなど、10年前では考えられなかった作物が芽室町で採れている。

新しい作物にチャレンジしている農家さんはいらる。気候変動に対応した作物や品種改良などの工夫は必要だと思う。

委員

町としては、応援していきたいというスタンスか。

我妻農林課長

応援というのが金銭面かというところ厳しいが、気持ちとしては応援したい。芽室農協とも話して、芽室の農業としてどういう方向性にしていくかが大切である。チャレンジに関して支援する気持ちはある。

委員

燃えるごみの中に堆肥にできるごみがあるのではないかな。

我妻農林課長

化学肥料・農薬が主にはなっているが、有機肥料の堆肥も重要だと思う。町には堆肥センターがあり牛糞を活用した堆肥を2万トン作って農家に配っている。農協の購買に行ったら、一般家庭用にも販売している。

おっしゃる通り生ごみも物理的には堆肥になるが、不純物や毒性の強いものが混じっている可能性もある。牛糞と一緒に生ごみも混ぜたらという声はあったが、みなさんの口に入る作物を作るので安全性の確保が重要だと思う。生ごみを堆肥化するのは難しい。

### ◎ 1-1-3 農地・土地改良施設等の整備・充実

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたって質問はないかな。

【質問なし】

それでは、各委員より妥当か妥当でないかを発表していただく。

(4名妥当、1名妥当でない(B))

グループ長

特に理由などがあれば発表いただきたい。

委員

成果指標②は目標値に達しており、他の指標も近いところまできているのでBとした。

委員

どのくらいだったら「大きく」と言えるのか、兼ね合いが分からなくて悩む。大きくと言っていいか分からず担当課がCとしているので、私も分からない中でCとした。

委員

国営と道営の事業量で達成できる・できないが決まるのか。国や道の事業枠が減らされると計画通りにいかないということなのか。

我妻農林課長

それも一因になりうる。町としても新しく整備する・更新する以外に、単独で3000万円程度かけて維持管理している。修繕したり維持管理したりすることも重要な役割である。国営・道営がないから達成できないというわけではないと考えている。

委員

明渠暗渠などすべて対象に入っているのか。明渠暗渠は入らないのか。

我妻農林課長

両面ある。大雨が降ったり、台風がくると排水しないと水浸しになる。4～6月は干ばつで水をまかなければいけないし、8～9月は排水が必要。両方全て対象である。国営事業は、農家負担はないが道営事業は農家負担が有る。効果が目に見えづらいと思うが、土地基盤整備によって農業産出額の363億円が支えられている。

委員

毎年、事業で計画があると思うが、手を挙げた方が全員乗れるわけではないのか。

我妻農林課長

道営事業は長ければ10年続くが2～3年目で言われても対応できない。最初に取りまとめ時点で手を挙げてもらわないとできない。原則は最初の計画通り進んでいく。

委員

平成28年度の洪水後に、十勝川右岸整備事業の審議委員に選ばれて現地を見た。美生川の橋の直し方は現状通りだが、工法について、町や農業者の声は反映されているのか。

我妻農林課長

道道に掛かっている橋なので道が直す。地元の要望も聞いてもらっているが、一定程度の基準があるので、それに基づいて橋や道路や河川改修をする。町からも要望はしているし聞いてはいただいているが、農家さんも含めすべての意見が反映されているわけではない。

#### ◎ 1-1-4 地域林業の推進

事務局

施策の目指す結果、担当課評価、経営戦略会議評価について説明。

グループ長

評価にあたって質問はないか。

【質問なし】

それでは、各委員より妥当か妥当でないかを発表していただく。

(4名妥当、1名妥当でない(C))

グループ長

特に理由などがあれば発表いただきたい。

委員

成果指標が、目標値に近い、または達成している状況を考えてCとした。

委員

担当課評価で「維持と考える」と書いてあるのでD評価を妥当とした。

委員

国有林の管理は国がやっているのか。

我妻農林課長

国がやっている。

委員

森林認証制度とは何か。

我妻農林課長

森林認証する協議会をもっていて、認証することで伐採した木材の価値が上がったりす

る。私有林だと管理が行き届かないので、認証制度を導入することで、所有者の適正管理する意欲を高めようとする取り組み。

委員

認証されるといいことがあるのか。

我妻農林課長

価値が上がり、より高い価格で売れる。

委員

むやみに切れない森林もあると思う。制約付きの森林というのはあるのか？

我妻農林課長

私有林ではあまり多くない。切ったり植えたりではなく、枝払いなどをしっかりする。

委員

釧路に製材工場ができるが追い風になるのか。

我妻農林課長

追い風になると思う。個人が直接持ち込んで売買することはないと思う。森林組合を通すが、製材工場が近い方がかかる費用が抑えられるので、近くにそういった工場ができるのはメリットがあると思う。

委員

町内の製材工場にとってはマイナスなのか。

我妻農林課長

管内で見ても、芽室町の林業は産業として大きくなく、町内の製材会社も大規模ではないので、大きな影響はないと思われる。

委員

林業は斜陽産業。円安で、外材と国産材の差がないのでチャンスなのか。林業にもひかりが当たる施策があれば。

我妻農林課長

ゼロカーボンやカーボンオフセットという点では森林の持つ二酸化炭素の吸収率は大切なので、いかに住民に理解してもらうかが大切である。また、国産の木材を使っても

らうことや木製品をいかに普及させていくかも大切である。

委員

前回の専門部会の観光施策の際に、新嵐山展望台への林道を行きやすくするという意見があった。拡幅などは考えていないのか。

我妻農林課長

展望台に向かう重要な道なので拡幅も考えて積算したこともある。3千～4千万円かかる。そこには手を出しづらい。整備はしているが、拡幅については今時点では考えていない。

冬も開放できるかという、除雪の関係もあるし、除雪をしても安全面を考えると難しいと思う。大型の観光バスが頂上まで上がれるようにという話も出たこともあるが、拡幅だけでは急カーブや急こう配の道を上まで行くのは難しい。お金がかかるということで拡幅はできないという結論になった。

### ■ 3 その他

グループ長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

次回の専門部会の日程、委員報酬、事後アンケートについて説明。

グループ長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

委員

過去に事務局から「何でもいいから言ってください」と言ってくれていた。担当課ももっとたくさんの人数がきていた。

事務局

委員がおっしゃっているのは、対象施策について、評価や今後の取り組みに対する意見以外にも何でも言いたいという意図なのか。それとも行政全般についての意見を言いたいという意図か。

委員

行政全般への意見である。

我妻農林課長

それは総合計画審議会専門部会の趣旨とは違うと思う。

行政全般に対して意見を聞くというのはめむろ未来ミーティングなどでもやっている  
ので、希望を出していただけたら。

委員

時間外労働などが厳しくなっている今、担当課が何人も来るとするのは、労基の関係か  
ら難しいのでは。たくさん来られるとこちらも緊張する。

委員

毎年同じ施策を担当するのか。

委員

アンケートの中に、そのことを書いたことがある。ただ、去年と同じだからこそ比べら  
れるという部分もあると思う。

#### ■ 4 閉会

それでは、これで本日の専門部会を終了する。

20:20